

平成 25 年度第 1 四半期（平成 25 年 4～6 月期） 長岡市景況調査報告書（概要版）

平成 25 年 7 月

長 岡 市
長岡商工会議所
(調査機関) ㈱ホクギン経済研究所

調査の概要

1. 調査の目的

長岡市と長岡商工会議所が共同で、四半期ごとの長岡市内事業所の景気動向を調査することにより、現在の景況を把握し今後の施策に反映させるための基礎資料とする。

2. 調査の方法

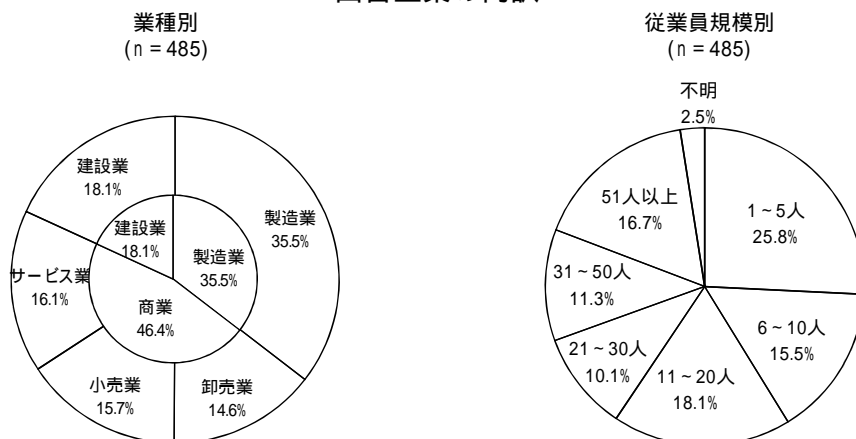
- (1) 期 間 平成 25 年 6 月 20 日 (木) ~ 平成 25 年 7 月 23 日 (火)
- (2) 方 法 郵送による記名アンケート方式
- (3) 対象先数 1,491 事業所
- (4) 回答先数 有効回答 485 事業所
- (5) 有効回収率 32.5% (485 / 1,491)

3. 回収状況

回収状況は下記の通り。

	調査対象企業数 ()は構成比率(%)	回答企業数 ()は構成比率(%)	回収率(%)
製 造 業	508 (34.1)	172 (35.5)	33.9
卸 売 業	231 (15.5)	71 (14.6)	30.7
小 売 業	260 (17.4)	76 (15.7)	29.2
サービス業	248 (16.6)	78 (16.1)	31.5
建 設 業	244 (16.4)	88 (18.1)	36.1
合 計	1,491	485	32.5

< 回答企業の内訳 >



・ 調査結果の概要

1. 景気動向に関する調査

(1) 業況判断の動向

- ・平成25年4～6月期の業況判断D I（前年同期比「好転」の事業所割合 - 「悪化」の事業所割合）は 21.0。前期比5.9ポイントの改善となった。
- ・平成25年7～9月期は 15.7 と、平成25年4～6月期と比較して5.3ポイント改善する見通し。
- ・業種別に業況判断D Iをみると、製造業は、平成25年4～6月期が 31.5(前期比+6.8ポイント)と改善した。平成25年7～9月期は 21.3 (前期比+10.2ポイント)と、業況はさらに改善する見通し。
- ・商業（卸売業、小売業、サービス業の合計）は、平成25年4～6月期が 25.6（前期比 2.1ポイント）と悪化した。平成25年7～9月期は 21.9（前期比 +3.7ポイント）と、業況は改善する見通し。
- ・建設業は、平成25年4～6月期が 11.8（前期比+23.5ポイント）と大幅に改善した。平成25年7～9月期は 10.6（前期比 1.2ポイント）と業況は小幅に悪化する見通し。

【現況】(平成25年4～6月期)

業種	好転 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	好転・悪化 (DI)	前回調査 (平成25年 1～3月期)
製造業	16.4 (+2.2)	35.8 (+2.5)	47.9 (4.6)	31.5 (+6.8)	38.3
商業	12.2 (1.9)	50.0 (+1.8)	37.8 (+0.2)	25.6 (2.1)	23.5
建設業	29.4 (+13.2)	52.9 (3.0)	17.6 (10.3)	11.8 (+23.5)	11.7
全体	16.7 (+2.2)	45.6 (+1.5)	37.7 (3.7)	21.0 (+5.9)	26.9

()内の数字は前回調査「平成25年1～3月期の現況」からの増減

【見通し】(平成25年7～9月期)

業種	好転 (%)	不変 (%)	悪化 (%)	好転・悪化 (DI)
製造業	16.5 (+0.1)	45.7 (+9.9)	37.8 (10.1)	21.3 (+10.2)
商業	10.7 (1.5)	56.7 (+6.7)	32.6 (5.2)	21.9 (+3.7)
建設業	29.4 (±0.0)	51.8 (1.1)	18.8 (+1.2)	10.6 (1.2)
全体	16.2 (0.5)	51.9 (+6.3)	31.9 (5.8)	15.7 (+5.3)

()内の数字は今回調査「平成25年4～6月期の現況」からの増減

< 長期的（平成 20 年 7～9 月期以降）にみた趨勢 >

- ・平成 20 年 7～9 月期から平成 22 年 10～12 月期（グラフ期間）

業況判断DIは、リーマンショックにより平成 21 年 1～3 月期を底に落ち込んだあと、平成 22 年 10～12 月期までは回復基調が続いた。業種別にみると、製造業がプラス圏内へと急回復するなど、DIの回復を牽引した。

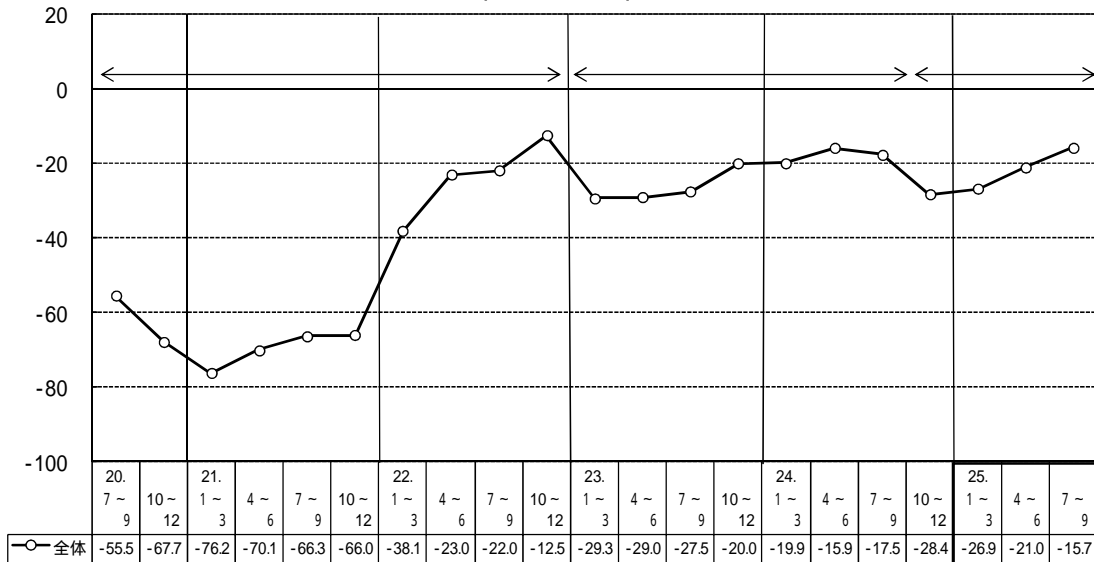
- ・平成 23 年 1～3 月期から平成 24 年 7～9 月期（グラフ期間）

DIは、東日本大震災により、平成 23 年 1～3 月期に大きく落ち込んだが、それ以降は緩やかに改善している。業種別では、製造業がこの期間、一貫して下降トレンドであったのに対して、商業と建設業は、着実に上昇した。

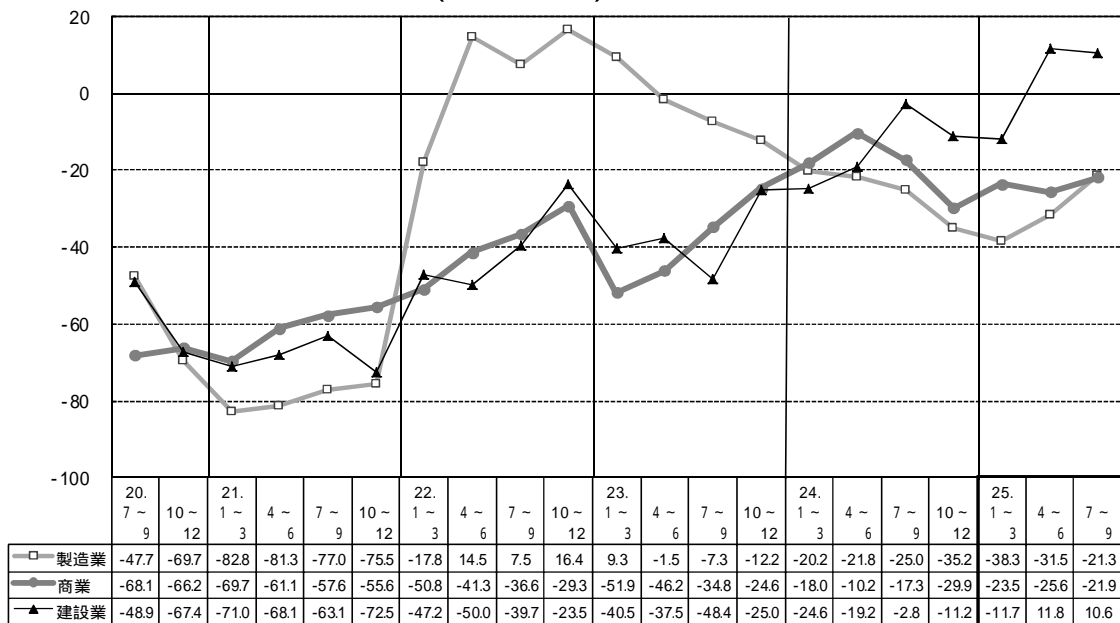
- ・平成 24 年 10～12 月期から平成 25 年 7～9 月期（グラフ期間）

DIは平成 24 年 10～12 月期に落ち込んだが、その後、再び緩やかに改善している。業種別では、建設業がプラス圏内へと急回復し、製造業も緩やかながら、持ち直しを見通している。一方で、商業は横這いと予想。

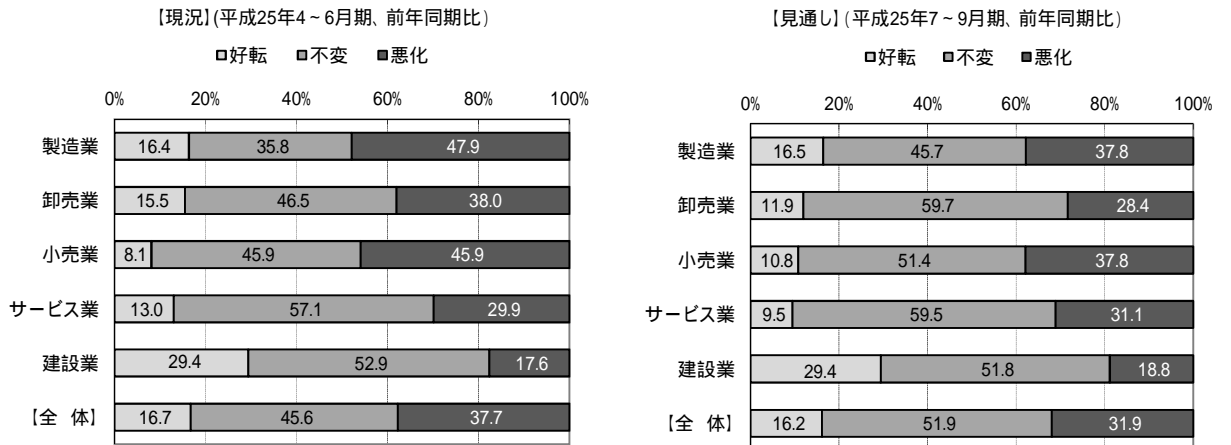
業況判断DI（前年同期比）の推移 < 全体 >



業況判断DI（前年同期比）の推移 < 業種別 >



- ・ 5 業種別に業況判断の動向をみると、平成 25 年 4～6 月期において、「好転」の回答割合は、建設業（29.4%）で高くなっている。また、「悪化」の回答割合は、製造業（47.9%）と小売業（45.9%）で高くなっている。但し、製造業では、平成 25 年 1～3 月期（52.5%）と比べると、「悪化」の割合は減少している。
- ・ 平成 25 年 7～9 月期の見通しでは、「好転」の回答割合が、建設業（29.4%）で引き続き高くなっている。また、「悪化」の回答割合は、製造業（37.8%）と小売業（37.8%）で高くなっているが、その割合は平成 25 年 4～6 月期よりも減少している。



- ・ 業種ごとの詳細は次の通り。(コメントの内容は前年同期比)

製造業	現況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精密機械、繊維・織物、一般機械は改善。 ・ 鋳鍛造品、菓子、電気機械は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繊維・織物、一般機械は引き続き改善の見通し。 ・ 金属製品、鋳鍛造品、一般機械は改善の見通し。
卸売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食料・飲料は改善。 ・ 繊維品・衣服は大幅に悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繊維品・衣服は大幅に改善の見通し。 ・ 食料・飲料は悪化の見通し。
小売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料は大幅に改善。 ・ 酒は大幅に悪化し、食料品、自動車は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車、酒は大幅に改善の見通し。 ・ 燃料は悪化の見通し。
サービス業	現況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車整備、飲食店は改善。 ・ 旅館・ホテルは悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店、自動車整備は横這いの見通し。 ・ 旅館・ホテルは引き続き悪化の見通し。
建設業	現況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築、総合建設、土木、管工事は改善。 ・ 電気工事は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合建設、管工事、土木は引き続き改善の見通し。 ・ 電気工事は引き続き悪化、建築は悪化の見通し。

コメントは、回答企業数が概ね 4～5 先以上の業種を対象としている。

(2) 売上の動向

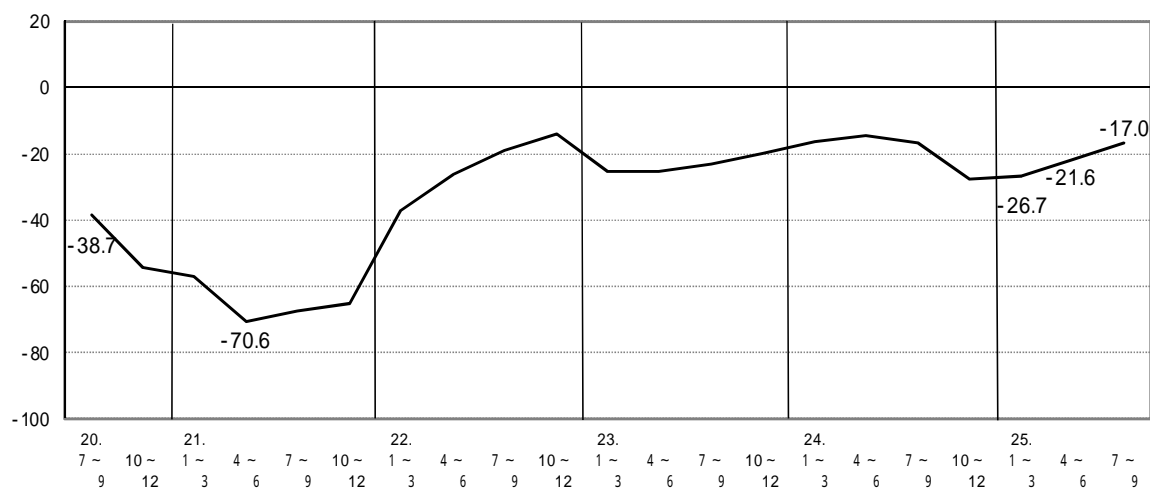
A 売上高の動向

- 平成 25 年 4～6 月期の売上高DI（前年同期比「増加」の割合 - 「減少」の割合）は全体で 21.6。平成 25 年 1～3 月期（26.7）と比較して、5.1 ポイントの改善となった。
- 平成 25 年 4～6 月期の業種別売上高DIは、建設業（前期比 +20.5 ポイント）、製造業（同 +11.0 ポイント）、卸売業（同 +5.4 ポイント）で改善。一方、サービス業（同 21.6 ポイント）で大幅に悪化。小売業（同 5.2 ポイント）も悪化した。
- 平成 25 年 7～9 月期の売上高DIは全体で 17.0。前期比 4.6 ポイント改善する見通し。
- 平成 25 年 7～9 月期の業種別売上高DIは、製造業、小売業で改善の見通し。建設業はプラス幅が拡大して、さらに改善する見通し。一方、卸売業で悪化する見通し。また、サービス業では小幅に悪化する見通し。

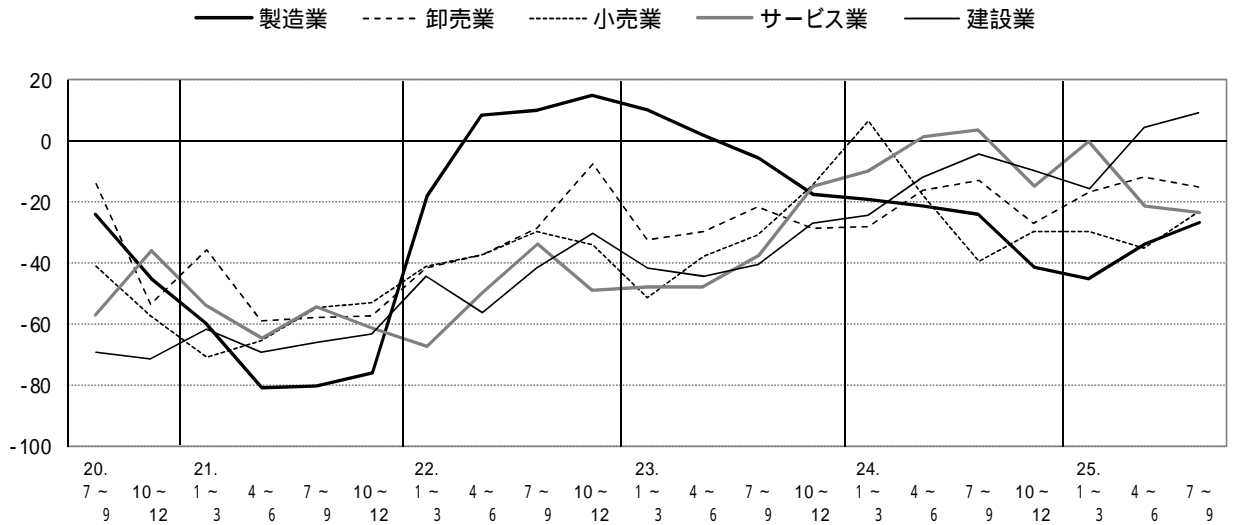
売上高の動向(前年同期比)

業 種	前回調査DI (平成25年 1～3月期)	現況（平成25年4～6月期）				見通し（平成25年7～9月期）			
		増 加 (%)	不 変 (%)	減 少 (%)	増加・減少 (DI)	増 加 (%)	不 変 (%)	減 少 (%)	増加・減少 (DI)
製 造 業	45.0	17.9	30.2	51.9	34.0	16.5	40.5	43.0	26.5
卸 売 業	17.0	27.5	33.3	39.1	11.6	20.9	43.3	35.8	14.9
小 売 業	29.9	12.2	40.5	47.3	35.1	10.8	55.4	33.8	23.0
サービス業	0.0	13.5	51.4	35.1	21.6	9.6	57.5	32.9	23.3
建 設 業	15.9	29.9	44.8	25.3	4.6	33.3	42.5	24.1	9.2
全 体	26.7	20.0	38.4	41.6	21.6	18.3	46.4	35.3	17.0

売上高DI(前年同期比)の推移【全体】



業種別売上高DI(前年同期比)の推移



- 業種ごとの詳細は次の通り。(コメントの内容は前年同期比)

製造業	現況	<ul style="list-style-type: none"> 印刷・製本、一般機械、金属製品は改善。 鋳鍛造品、清酒、菓子が悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> 一般機械、金属製品は引き続き改善の見通し。 印刷・製本は悪化の見通し。
卸売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> 食料・飲料は改善。 金属材料、繊維品・衣服は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> 繊維品・衣服、一般機械、金属材料は改善の見通し。 食料・飲料は悪化の見通し。
小売業	現況	<ul style="list-style-type: none"> 燃料は大幅に改善。 酒、食料品、自動車は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> 酒、自動車、食料品は改善の見通し。 燃料は悪化の見通し。
サービス業	現況	<ul style="list-style-type: none"> 運輸は改善。 情報・通信サービス、旅館ホテル、飲食店は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> 運輸は引き続き改善の見通し。 情報・通信サービスは引き続き悪化の見通し。
建設業	現況	<ul style="list-style-type: none"> 建築は大幅な改善。土木、電気工事は改善。 管工事は悪化。
	先行き	<ul style="list-style-type: none"> 総合建設、管工事、電気工事は改善の見通し。 建築は悪化の見通し。

コメントは、回答企業数が概ね4～5先以上の業種を対象としている。

(3) 設備投資の動向

- ・平成25年4～6月期の設備投資は、全体では「実施しなかった」が72.4%（前回75.5%）を占め、依然として設備投資に慎重な先が多い。業種別では、「実施しなかった」事業所は小売業が最も多く、8割ちょうどとなった。
- ・平成25年4～6月期で設備投資を実施した事業所の投資内容は、「車両運搬具」、「設備」、「OA機器」が多い。特に、製造業で「設備」との回答が多い。
- ・平成25年7～9月期は、設備投資を「計画していない」が全体で72.2%と、依然として慎重な姿勢が続く見通しである。業種別では、「計画していない」との回答割合が卸売業（65.2%）を除く4業種で、7割を超えており、引き続き投資に慎重な姿勢がうかがえる。
- ・平成25年7～9月期に設備投資を計画している事業所の投資内容は、「設備」、「車両運搬具」、「OA機器」が多い。特に製造業で「設備」への投資を予定する回答が多い。

[現況] 平成25年4～6月期の設備投資

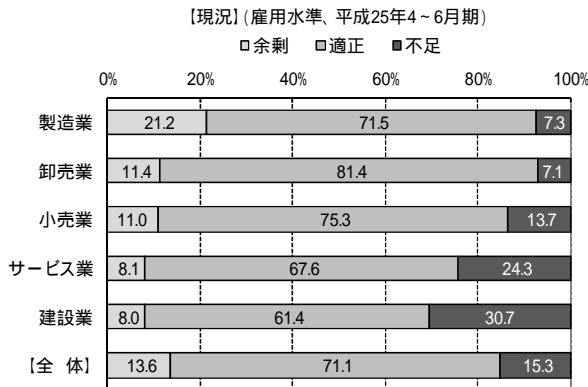
業種	実施した(%) [()内は事業所数]	投資内容(事業所数、複数回答)								実施しなかった(%)
		土地	建物	設備	車両運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
製造業	28.8 (49)	2	4	25	13	6	13	2	0	71.2
卸売業	26.8 (19)	2	2	2	7	2	5	0	3	73.2
小売業	20.0 (15)	3	4	3	3	2	6	0	1	80.0
サービス業	26.7 (20)	1	2	7	11	2	6	0	2	73.3
建設業	33.0 (29)	1	4	5	14	2	10	0	3	67.0
全体	27.6 (132)	9	16	42	48	14	40	2	9	72.4

[計画] 平成25年7～9月期の設備投資

業種	計画している(%) [()内は事業所数]	投資内容(事業所数、複数回答)								計画していない(%)
		土地	建物	設備	車両運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
製造業	27.4 (46)	1	2	30	6	7	7	0	4	72.6
卸売業	34.8 (24)	3	6	2	11	4	6	0	2	65.2
小売業	27.0 (20)	1	7	7	5	5	5	1	0	73.0
サービス業	25.7 (19)	0	4	4	6	2	5	0	6	74.3
建設業	25.6 (22)	1	2	2	11	1	7	0	2	74.4
全体	27.8 (131)	6	21	45	39	19	30	1	14	72.2

(4) 雇用の動向

- 平成 25 年 4～6 月期の雇用水準は、全体では「余剰」13.6%（平成 25 年 1～3 月期 16.1%）、「適正」71.1%（同 65.0%）、「不足」15.3%（同 18.9%）。DI（「余剰」の割合 - 「不足」の割合）は 1.7 と、平成 25 年 1～3 月期（2.8）に引き続いてマイナス圏となり、雇用の不足感が出ている。業種別でみると、建設業（22.7）とサービス業（16.2）で不足感が強くなっている。



雇用の動向

業種	現況DI (水準、平成25年4～6月期)	前回調査DI (水準、平成25年1～3月期)
製造業	13.9	16.9
卸売業	4.3	1.7
小売業	2.7	5.3
サービス業	16.2	25.5
建設業	22.7	25.0
【全体】	1.7	2.8

- 平成 25 年 4～6 月期の従業員数は、全体で「増加」15.2%（平成 25 年 1～3 月期 11.7%）、「不変」71.0%（同 69.0%）、「減少」13.7%（同 19.4%）。DI（「増加」の割合 - 「減少」の割合）は 1.5 と、平成 25 年 1～3 月期（7.7）より 9.2 ポイント改善し、プラス圏内となった。
- 平成 25 年 7～9 月期の従業員数は、全体で前年同期比「増加」10.3%、「不変」81.7%、「減少」8.1%。DI（「増加」の割合 - 「減少」の割合）は 2.2 と、先行きはさらに小幅ながら改善する見通し。

